市政レポート

秋号
No.54

岡崎市議会議員

鈴木 ひでき



「いつまでも　安全安心　いきいきと」した　岡崎のまちづくり

発行　鈴木ひでき 後援会　連絡先　〒445-8502　西尾市下羽角町住崎1　TEL　050-1727-2399 FAX　0563-55-1909

まちづくり3政策

すこやかな発展を続ける

おだやかな暮らしを守る

のびやかな人生を歩める

一般質問に登壇し市政に提言

公共施設等総合管理計画におけるプール施設について

＜質問した経緯＞

６月定例会の一般質問にて、**「学校プールの集約化と民間活用、跡地の子どもの居場所化を柱とした公共施設マネジメントの再構築」**をテーマとして、第一段階である、小中学校プールの室内化及び集約化とげんき館を活用したモデル事業について確認をする。今回は、第2段階として**「水泳授業や部活動地域移行の移動手段に関わる内容」**を主な観点として、今後進められる**「地域公共交通計画の改訂」**の方向性も含めた内容について確認をする。

■計画の改訂内容と前計画との相違点

【目指す方向性】
鉄道、路線バス、タクシー、デマンド交通、町内会等による共助交通など、地域の実情に応じた多様な移動手段を組合せ持続可能な交通体系へ再構築する

【実現するための４つの基本方針】

①公共交通軸と拠点の充実・保証
　定時性や速達性などのサービス水準を路線ごとに設定し政策的に維持・強化を図る

②セーフティネットとして生活に必要な移動の確保
　暮らしに必要な最低限の移動サービスの確保を図る

③もう少し最初／最後の移動の支援
　既存交通の上乗せとして地域が主体となって実施する共助交通の導入支援を図る

④持続可能な公共交通ネットワークの構築
　時代に合わせた公共交通ネットワークの最適化を図る

【前計画との相違点】
・目標年度(2050年)の理想未来像に必要となる公共交通のあり方を整理し必要となる施策を検討する
・支えあう共助交通を積極的に支援し、利便性や柔軟性を向上させる仕組みを取入れる

■「教育×地域交通」を両立する整理の方向性

既存の公共交通の路線やダイヤは、定期的かつ日常的な移動需要を中心に構築。対して、水泳事業などは移動時期や時間帯、移動先に柔軟性が求められ既存の交通網のみで全てを補うことは一定の限界がある

これらの課題に対して、地域との連携を基盤としつつ、従来の枠組みを超えて、教育、福祉、医療、観光など、他分野との横断的な連携・共創を施策の大きな柱として位置付ける方向で検討を進める。学校プールの集約化や部活動の地域移行に伴う移動といった具体的課題についても、教育委員会をはじめとする関係部局や地域の皆様と十分に協議を重ね、持続可能かつ効率的な移動手段の確保に向けて、計画の中でしっかりと整理する。

■地域公共交通計画改定に向けての進め方

・10月頃：パブリックコメント案の協議
・11月頃：パブリックコメントの実施
・12月頃：パブリックコメントの結果報告
・ ２月頃：最終案について協議
・令和８年度末：策定と公表を予定

基本方針毎に成果目標を設定し計画終期(令和13年度)に評価

「教育×地域交通」を両立する移動手段を考慮し、公共施設マネジメントの再構築を段階的に取組む

引き続き「岡崎に住んで　本当に良かった」と思って頂けるように取組みます！！

令和7年度決算審査について

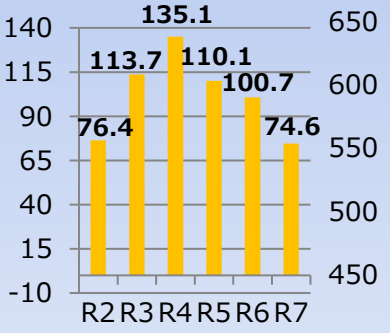
■決算審査概要

項目	歳入	歳出	純剰余金及び利益
一般会計	1,677億　931万円	1,577億 6,829万円	64億9,799万円
特別（12）会計	770億9,961万円	760億5,264万円	10億2,348万円
病院事業会計	277億1,731万円	288億1,216万円	▲11億1,170万円
水道事業会計	82億8,888万円	72億9,350万円	7億　128万円
下水道事業会計	105億2,161万円	102億5,786万円	▲1,618万円

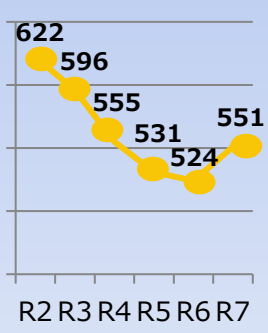
＜財政状況の評価＞

財政指標：プライマリーバランス（基礎的財政収支）とは、市債の発行に頼らず、その年の歳入で市民生活に必要な支出がまかなえているのか確認する指標で、財政健全化の目安の一つ。

■プライマリーバランス（億円）



■市債残高（億円）



■一般会計

3ポイント良化

・経常収支比率は、90.1%(望ましい範囲70～80%)
・財政力指数は1.01（引き続き、**不交付団体**となる。）
・市債残額は、**27億円増額** 理由は中央総合公園などの整備で活用
・財政調整基金は、年度末残高約104億円（前年度対比13億円増）。目標残高**100億円を確保**する。

■企業会計

・病院は、入院・外来収益は増収。給与費・材料費は収益を上回る増加。医療収益増加や医業費用節減を図るが**赤字**となる。
・水道は、**黒字**。料金改定(R7.10月)後の財源活用に注視する。
・下水道は、過年度損益修正及び他会計負担の増加により**赤字**。

弾力性に要注意！ 安心して安全に住み続けられるように持続的な健全財政のまちづくりに引続き注視します

トピックス

南公園遊具の使用料について

【概要】南公園の有料公園施設が2027年4月3日から供用再開されます。それに伴い、使用料が決定しましたので報告します。

【変更点】

①決済方法
現金、クレジットカード、QRコード決済、交通系ICカード

②新規券種導入
１日券、マルチパス、個別の３種類

③入場確認方法
１日券やマルチパスは、色別リストバンドを装着し入口で提示

※旧共通回数券は、１片につき２０円相当額として使用可能。

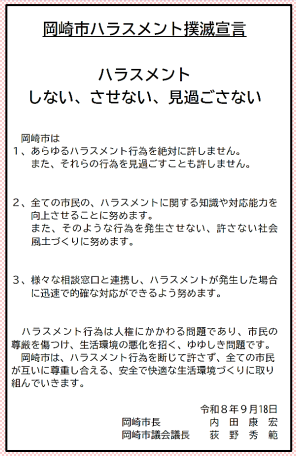
使用料金一覧表（単位：円）

エリア	遊具名	料金	1日券	パス
交通広場	バッテリーカー（現金）	50		
交通広場	ゴーカート(1人・2人)	50	導入予定	導入予定
遊戯施設	子供汽車 サイクルモノレール	60	一日券＋屋内遊戯施設	一日券＋屋内遊戯施設
遊戯施設	てんとう虫型回転遊具 メリーゴーランド 観覧車 りす型空中回転遊具 ティーカップ	100	600	導入予定 一日券＋屋内遊戯施設
遊戯施設	小型自動遊具（現金）	20		
遊戯施設	動物型乗り物遊具（現金）	100		
遊戯施設	屋内遊戯施設（新設）	未定		

リニューアルで更に多くの方に親しまれる施設となることを期待する

ハラスメント撲滅宣言について

【成果報告】所属する「ハラスメント対策調査検討特別委員会」にて、本市のあらゆるハラスメントの防止に向け明確な意思を示すように促し、市長・議長の連名で、最終日に「撲滅宣言」を表明しました。



岡崎市ハラスメント撲滅宣言

ハラスメント
しない、させない、見過ごさない

岡崎市は
1、あらゆるハラスメント行為を絶対に許しません。
また、それらの行為を見過ごすことも許しません。

2、全ての市民の、ハラスメントに関する知識や対応能力を向上させることに努めます。
また、そのような行為を発生させない、許さない社会風土づくりに努めます。

3、様々な相談窓口と連携し、ハラスメントが発生した場合に迅速で的確な対応ができるよう努めます。

ハラスメント行為は人権にかかわる問題であり、市民の尊厳を傷つけ、生活環境の悪化を招く、ゆゆしき問題です。
岡崎市は、ハラスメント行為を断じて許さず、全ての市民が互いに尊重し合える、安全で快適な生活環境づくりに取り組んでいきます。

令和８年９月18日
岡崎市長　内田康宏
岡崎市議会議長　荻野秀範

【解説】

①3つの原則
「加害者にならない」
「被害者にならない」
「第三者として見過ごさない」

②市の姿勢の明確化

③市民への意識醸成
教育や風土づくりへの重要性

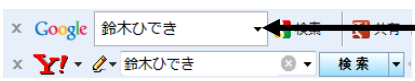
④迅速で的確な対応整備
相談窓口の周知強化と、実際の相談内容と信頼関係を築く取組の重要性を示す

誰もが尊重され安心して暮らせる取組に注視

編集後記

過去の市政レポートについては、
下記ドメインまたはQRコードを読みこんでいただき
内容のご確認をお願い致します。

＜ホームページのドメイン＞
http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/



「鈴木　ひでき」検索でも見れます！！

＜QRコード＞

＜過去の掲載内容＞
- 過去の一般質問の想い
- 本市の財政状況
- 年度毎の主な施策

市政の話題満載！

